

令和2(2020)年度 日本学生支援機構「第一種」奨学金

業績優秀者返還免除推薦者の募集について

日本学生支援機構から、大学院「第一種」奨学生に採用され、今年度中に貸与が終了する方を対象に、「特に優れた業績による返還免除制度」の推薦依頼がありました。この制度は、貸与を受けた当該課程において特に優れた業績を挙げた者であると日本学生支援機構が認定した場合、貸与を受けた奨学金の全額または半額の返還が免除される制度です。返還免除希望者は下記により申請してください。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、貸与期間中に業績を挙げるができなかった場合の特例措置が設けられています。詳細は下記7を参照ください。

記

1 申請資格

次の①②③の条件をすべて満たす者

- ① 大学院「第一種」奨学金採用者で、2021年3月までに貸与が終了する者。2020年度内の退学・貸与辞退等により貸与が終了した（する）者も含まれます。
- ② 貸与終了時に在学している課程で特に優れた業績をあげた者。
- ③ 返還誓約書を提出済の者。

※貸与が終了した年度に限り申請できます。

2 本学への推薦依頼数

修士課程 32名 博士後期課程 3名（うち免除内定者1名）（2020年12月時点）

※推薦依頼数については変更する場合があります。

※なお、推薦対象となっても全体の推薦状況によっては免除認定とならない場合があります。

3 選考対象となる業績および選考方法

以下の項目について、在籍している課程における教育研究活動等または専攻分野に関連した学外における教育研究活動において優れた業績をあげた者の中から研究科長会議で返還免除候補者を選考し、日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考委員会において審議した上、推薦候補者を決定します。

- (1) 学位論文、その他研究論文（学位論文、関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載・表彰等）
- (2) 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果（経済学専攻・法律学専攻・国際文化専攻・国際政治学専攻の「リサーチペーパー」、公共政策研究科の「政策研究論文」、日本文学専攻の「文芸創作」「研究副論文」が該当します。）
- (3) 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果
- (4) 著書、データベースその他の著作物（上記（1）（2）に掲げる論文等のほか、専攻分野に関連した著作、データベース、その他の著作物等）
- (5) 発明（教育研究活動の成果としての特許・実用新案等）
- (6) 授業科目の成績
- (7) 研究又は教育に係る補助業務の実績（RA、TA等による補助業務）
- (8) 音楽、演劇、美術、その他芸術の発表会における成績（教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な発表会等）
- (9) スポーツの競技会における成績（教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等での結果）
- (10) ボランティア活動、その他の社会貢献活動の実績（教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績）

4 申請書類

返還免除希望者は以下の書類を、紙媒体「本書1部、コピー1部」の計2部、および電子データ（業績を証明する書類等も含め全てPDFファイル化し、記録メディアに収めたもの）で提出してください。

- (1) 「令和元（2020）年度 業績優秀者返還免除申請書」（様式1-1）…大学院 HP（<http://www.hosei.ac.jp/gsl/>）から Excel を各自ダウンロードおよび印刷してください。
 ※氏名欄は申請者本人が手書き（直筆）で記入してください（氏名欄以外はタイプ可）。
 ※今年度より、押印欄は廃止となりました。
- (2) 「業績一覧表」（様式1-2、表裏）…配布方法は上記（1）に同じ。
 ※必ず両面印刷にすること。
- (3) 申請者の業績を証明する書類（原本+コピー計2部および電子データ）（下記6参照）
 ※紙媒体は1部日本学生支援機構へ提出し、もう1部および電子データは学内選考に使用します。
 ※特に優れた業績であることを証明する書類として「成績証明書」を提出する場合は、紙媒体については、原本1部とコピー1部を提出してください。電子データについては、PDF化したものを提出してください。（今年度より、「授業科目の成績」が業績に該当しない場合は、成績証明書の提出は不要です）
 ※特に優れた業績であることを証明する書類として「学位論文その他の研究論文」の証明書類は、紙媒体は、
 1部：論文全体の写し
 1部：申請者名（著者名）・論文タイトル・学術雑誌名及び発行日等が分かる部分の写し等と論文内容の概要（書式自由、A4 1～2枚程度）
 をご提出ください。
 電子データは、論文全体と概要の両方を提出してください。
 ※電子データは、記録メディア（CD-ROM、USBメモリ等）でご提出ください。記録メディアには、学生証番号、氏名、書類作成機種、OS名（Win、Mac等）、論文作成ソフト（ソフト名、バージョン）を明記したラベルを貼付してください（メディアが小さい場合は別紙メモでも可）。
 ※今年度より、「指導教員等の推薦理由」は廃止となりましたので、提出の必要はありません。

5 「業績優秀者返還免除申請書」「業績一覧表」作成要領等

- (1) 「業績優秀者返還免除申請書」（様式1-1）

記入例1を参考に、以下の点に注意して記入してください。他の用紙の貼り付け、別紙の添付は認められていません。

様式1-1	日付	書類提出時の日付を和暦で記入してください。
	氏名	氏名は必ず本人が直筆で記入してください。
	大学院名	「法政大学大学院」と記入してください。
	課程	該当するいずれかの口を■（黒）にしてください。
	研究科名・専攻名	専攻がある場合は、必ず専攻名も記入してください。
	奨学生番号	奨学生証等で確認し、「6」からはじまる11桁の番号を記入してください。
	現住所	現在あなたが大学に登録している住所・電話番号を記入してください。
	大学院における研究課題等	ご自身の研究テーマを「題目」欄に、その概要を「概要」欄に記入してください。
	返還誓約書の提出について	必ずいずれかの口を■（黒）にしてください。※返還誓約書の提出は必須です。
	口座振替（リレー口座）加入申込の手続きについて	必ずいずれかの口を■（黒）にしてください。※リレー口座への加入手続は必須です。

- (2) 「業績一覧表」（様式1-2）

記入例2を参考に、記入してください。行を挿入して3頁以上にする場合は特に以下にご注意ください。

※行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いませんので、必要に応じて行を挿入してください。（ただし、3頁以上になる場合は必ずExcelファイルを使用し、左上のタイトル、■業績一覧表（表）、■業績一覧表（裏）を、■業績一覧表（1/3）、■業績一覧表（2/3）、■業績一覧表（3/3）のように変更し、右上の（様式1-2表）（様式1-2裏）の箇所を（様式1-2 1/3）（様式1-2 2/3）（様式1-2 3/3）の

ように整合性のとれるページ付けに変更すること。また、表頁（1頁）5, 6行目の「奨学生番号」～「研究科名・専攻名」は追加した頁ごとに挿入しておくこと。

6 業績を証明する書類について

(1) 下記2つの条件を満たさなければ、「業績を証明する書類」として添付できませんので注意してください。

条件1. 奨学金貸与期間中における業績であることが、客観的に分かること。

年月日とあなたの名前がわかるように、必ずマーカーで印を付けてください。

※業績は奨学金貸与期間中の現課程のものに限ります。

条件2. 専攻分野に関連した教育研究活動の成果であること。「音楽、演劇、美術その他芸術」「スポーツの競技会」「ボランティア活動」等での業績は、特に注意してください。

(2) 提出された書類は一切返却できません。

(3) 「業績一覧表」（様式1-2）を作成し、その**資料番号と同じ番号を各該当書類の右肩に記入**してください。

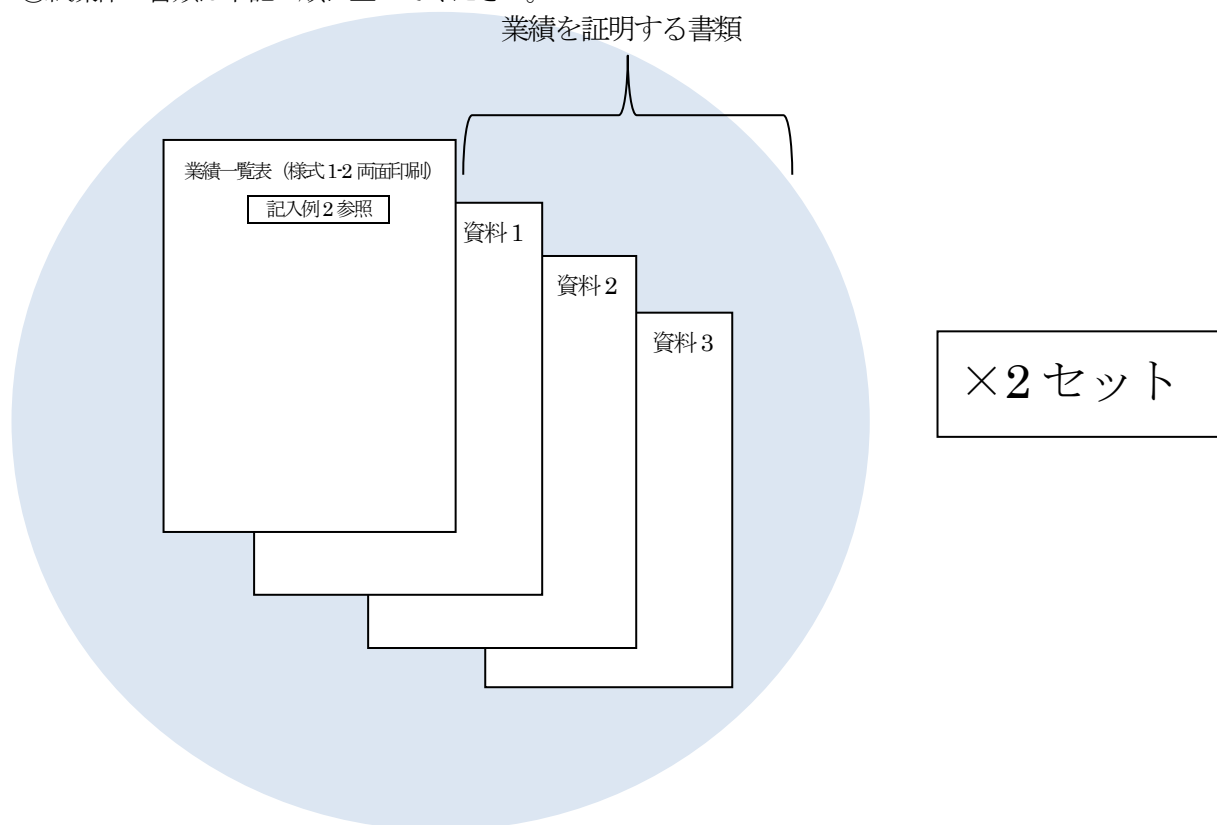
(4) 「審査中の論文や印刷中の著書」等も対象になりますが、必ずその旨（印刷中等）を記入してください。修士・博士論文作成途中の場合も同様です。

(5) 「教育研究活動等の業績」項目1.～4. で冊子等を提出する場合は、ご自身が掲載したことがわかる部分（表紙・目次・本文等）をコピーして提出してください。

「教育研究活動等の業績」項目	それを証明する書類等（例）
1. 学位論文その他の研究論文	<ul style="list-style-type: none"> • 学位論文 表紙（タイトル、本人氏名、指導教員名） 内容（概要又はアブストラクト等） • 学術論文 表紙（雑誌名、発行巻数等のわかるもの）、目次、内容等のコピー。 投稿中論文の場合は受理証明書などのコピー。 • 学会発表 プログラムの表紙（ネット登録の場合も、日時・学会名、開催場所のわかるもの）、目次、内容（概要、アブストラクト等プログラムに掲載されている部分）等のコピー。 今後予定されている学会等の場合は、エントリー通知や学会レジユメのコピー。 • 学会での表彰 年月日がわかる表彰状等のコピー。
2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	経済学研究科（夜間）及び国際日本学インスティテュート及び国際政治学専攻の「リサーチペーパー」、政策科学研究科の「政策研究論文」、日本文学専攻の「文芸創作」「研究副論文」
3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	• 成績証明書
4. （専攻分野に関連した）著書、データベースその他の著作物（1及び2に掲げるものを除く）	• 表紙、目次、内容
5. 発明	• 出願資料、登録ナンバー等
6. 授業科目の成績	• 成績証明書 原本およびコピー
7. 研究又は教育に係る補助業務の実績	• T.A または R.A.勤務届等の直近月分のコピー
8. （専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	• 表彰状等コピー
9. （専攻分野に関連した）スポーツの競技会における成績	• 表彰状等コピー
10. （専攻分野に関連した）ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）	<ul style="list-style-type: none"> • 新聞記事 • 表彰状等コピー

業績を証明する書類提出時の注意点

①紙媒体の書類は下記の順に並べてください。



②書類の右肩に、業績一覧表に記入した資料番号を記入すること。(複数枚の場合は一枚目だけ記入)

③複数枚の場合はホッチキス等 (すぐに外れるクリップ不可) で書類毎にまとめておいてください。

④共同発表、共著の場合は自分の氏名にマーカーを引いておいてください。

⑤日付や年度にマーカーを引いておいてください。

7 新型コロナウイルス感染症に係る免除申請期間延長対応について

本制度の申請を希望していた者が、新型コロナウイルス感染症の影響 (コロナ以外の事情は不可) による研究計画の遅延等のため、貸与期間中に業績を挙げることができなかった場合 (課程を修了した場合は除く) は、特例として、1年を限度に貸与期間延長及び延長期間中の休止 (延長期間中は休止として奨学金の貸与はありません。) を認め、貸与終了月について1年を限度に先送りとすることで、業績を挙げる期限を1年間猶予し、令和3年度の申請が可能となります。

該当する場合は、申請期限内に以下の申請書類を提出してください。なお、申請期限以降に、予定していた業績があげられず、免除申請期間の延長を希望する場合は、3月10日 (水) までに所属キャンパス担当窓口にご相談ください。

「令和2年度 業績優秀者返還免除申請期間延長届」(様式3)

※氏名欄は申請者本人が手書き (直筆) で記入してください。

8 申請期限

2021年1月25日 (月) 17:00 厳守

郵送提出の場合は必ず、2021年1月20日 (水) までに所属キャンパス担当者宛メールアドレスに申請書類一式をデータで送付してください。詳細は下記10をご確認ください。

9 返還免除者の決定

各大学からの推薦者について、日本学生支援機構が設置する認定委員会の議を経て、特に優れた業績を挙げた者

の認定並びに奨学金の全額免除及び半額免除が決定されます（機構から申請者への最終結果通知は、2021年7月下旬を予定しています）。

10 申請書類提出・問合せ先

※提出について、今年度は、窓口および郵送でも受け付けます（データのみ提出は不可）。

市ヶ谷キャンパス 大学院事務部 大学院課 03-5228-0551 i.hgs@ml.hosei.ac.jp

大学院事務部 大学院課 政策創造研究科担当 03-3264-6630 rpd-j@hosei.ac.jp

大学院事務部デザイン工学研究科担当 03-5228-142 jsd@hosei.ac.jp

多摩キャンパス 学生センター 多摩学生生活課 042-783-2152 tamasei@hosei.ac.jp

小金井キャンパス 学生センター 小金井学生生活課 042-387-6042 kgakusei@hosei.ac.jp

※受付時間は、各提出先の窓口取扱い時間となります。郵送で提出する場合は、申請期限日必着となります

※郵送で提出する場合は必ず、2021年1月20日（水）までに所属キャンパス担当宛メールアドレスに、件名「日本学生支援機構返還免除について」として、申請書類一式（業績を証明する書類等もすべて）をPDFデータで送付し、事前に書類に不備不足がないことの確認を受けてください。担当からの返信を確認したうえで、レターパックライト等追跡できる方法で郵送するようにしてください。郵送での提出は、確認を受けたうえで申請期限日必着になりますので、余裕を持って提出してください（データの確認を受けただけでは提出したことになりませんのでご注意ください）。

以上